

日行連発第985号
平成26年12月1日

各単位会長 殿

日本行政書士会連合会
会長 北山 孝次
第三業務部
部長 田村 格

「国際業務に関するセミナー」開催に係る周知依頼について（お願い）

平素より当会の事業活動にご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて日行連第三業務部では、来る平成27年1月24日（土）住友不動産ベルサール八重洲において、「国際業務に関するセミナー」を開催いたします。

当該セミナーにつきましては、会員に限らず、幅広くご参加いただけるよう企画いたしております。つきましては、各単位会におかれまして、別紙『「国際業務に関するセミナー」概要について』をご参照いただき、所属会員及び近隣の関係機関等への周知にご協力いただきますようお願い申し上げます。

以上

「国際業務に関するセミナー」概要について

1. 開催日時：平成27年1月24日（土）13：30～16：25
13：30 開講
13：40～16：00 講演
「『日本の外国人政策の戦略的構想』～「開国」対「鎖国」の二項対立を越えて」
16：25 閉講
2. 開催場所：住友不動産ベルサール八重洲3階「Room1～3」
（東京都中央区八重洲1-3-7八重洲ファーストフィナンシャルビル）
http://www.bellesalle.co.jp/room/bs_yaesu/
3. 講師：明石 純一 氏
（筑波大学准教授、国際政治経済学博士）
4. 内容：「『日本の外国人政策の戦略的構想』～「開国」対「鎖国」の二項対立を越えて」
活性化して止む気配をみせない国境を越える人の移動・移住は、国際社会の現在を語り未来を占ううえで、私たちの視野からもはや外せない現象であります。各国政府は、高い流動性を有するこうした人的資源に注目し、それを活用し、国益増進を図っております。人材の獲得、人手の調達、人口の補填など、その目的は多様であり、目的を果たすための政策手段も多岐に渡ります。
近年の日本においても、諸外国から人を招き入れるための方策が相次いで打ち出されていることは周知の通りでしょう。それがたとえ「移民政策」と呼べるものではないにしても、昨今の日本の動静は世界の潮流と無関係ではなく、各方面から熟視されてもいます。
本セミナーでは、日本の外国人政策を歴史的かつ国際的に俯瞰し、そのあり方を考察してみたいと思います。
5. 定員：200名（先着順）
6. 受講料：無料
7. 申込方法：日行連ホームページ（<http://www.gyosei.or.jp/>）トップページのお知らせ内「国際業務に関するセミナー申込受付について」から申し込みください。
URL: <https://ngr-kokusai.com/>
8. 受付期間：平成26年12月10日（水）～平成27年1月9日（金）
先着順で受け付け、申込期間内であっても定員に達し次第締切といたしますので、ご了承ください。